

Thunderbird メールソフトの設定

※こちらの資料はWindows10の端末とThunderbirdバージョン102.1.2で
検証を行い、作成しています。

(0) 事前準備

「KCT-Net会員証」(図1)をご準備ください。

(1) メールソフト起動

パソコン画面上のThunderbirdのアイコン(図2)をクリック。
もしくはスタートボタン( や  など)をクリック後、表示される
スタートメニュー内からThunderbirdの項目をクリック。

※図3: Windows10のスタートメニュー

図4: Windows11のスタートメニューを参照。



図1: KCT-Net会員証



図2: Thunderbirdアイコン

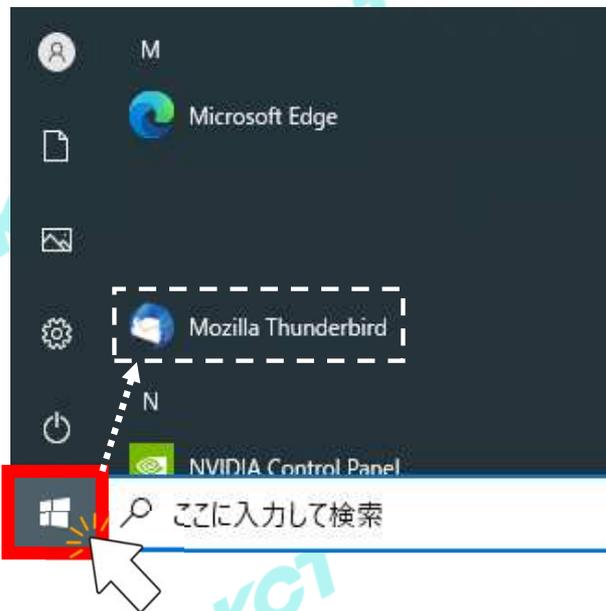


図3: Windows10のスタートメニュー

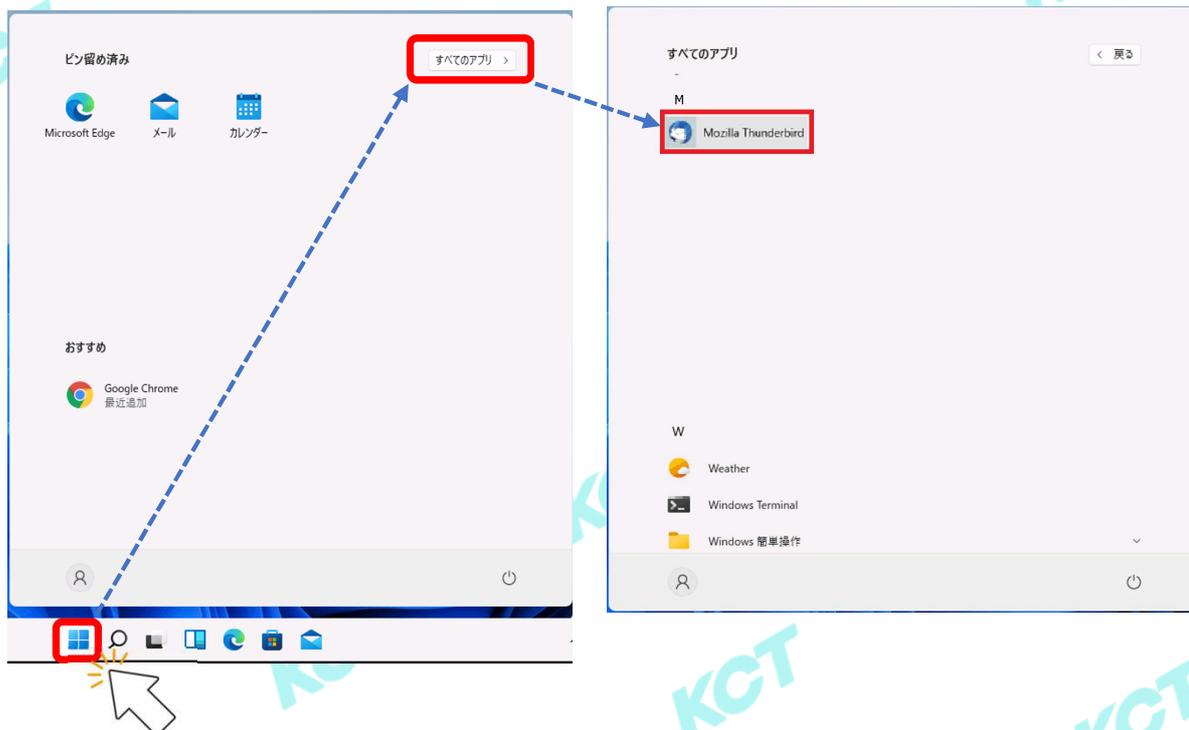
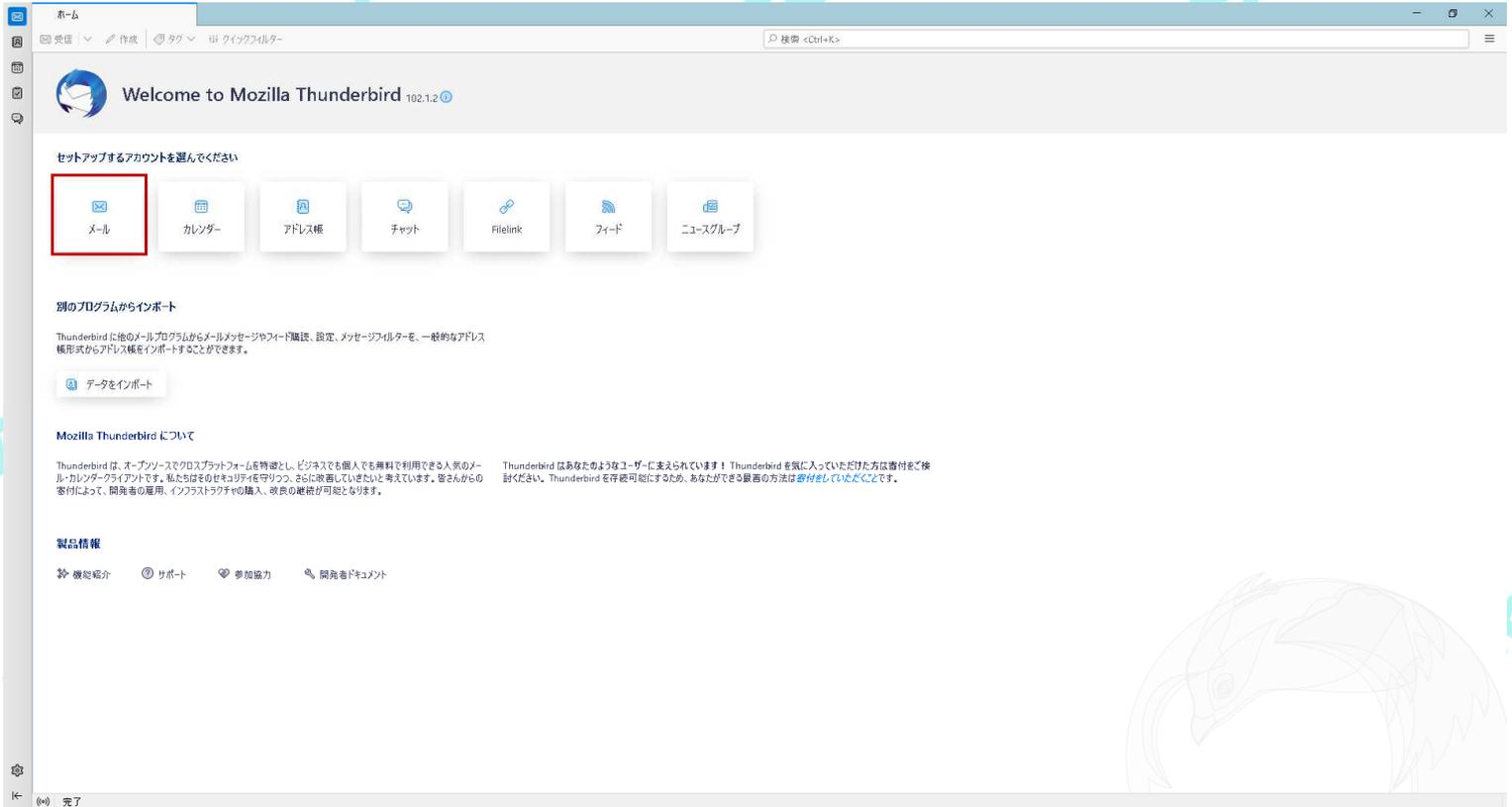


図4: Windows11のスタートメニュー

(2) メールアカウントの設定

① : ホーム画面が表示されたら「メール」をクリックします。

※「既存のメールアドレスのセットアップ」のページが表示されている場合は次のページへお進みください。



(2) メールアカウントの設定 (つづき)

①: 赤枠の項目を表の内容を参考に設定値を入力してください。

表示名	入力内容
あなたの名前	メール受信者に表示される名前です。お好みで設定してください。
メールアドレス	会員証記載の「メールアドレス」
パスワード	会員証記載の「パスワード」
パスワードを記憶する	任意項目です。 ※☒を外すと送受信の度にパスワードの入力が必要です。

②: ①でパスワードすることで表示される「手動設定」の項目をクリックします。

③: 「受信サーバー」の設定項目を表を参照して入力します。

④: 「送信サーバー」の設定項目を表を参照して入力します。

※「送信サーバー」については設定内容が2種類存在します。利用用途に合わせて設定してください。

⑤: 設定値を入力後、「完了」をクリックします。

受信サーバー設定値

表示名	入力内容
プロトコル	POP3
ホスト名	会員証記載の「受信サーバ(POP)」
ポート番号	110
接続の保護	なし
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	会員証記載の「メールアカウント」

送信サーバー設定値(KCT-Net回線内でのみ使用)

表示名	入力内容
ホスト名	会員証記載の「送信サーバ(SMTP)」
ポート番号	25
接続の保護	なし
認証方式	認証なし
ユーザー名	-

送信サーバー設定値(KCT-Net回線外でも使用)

表示名	入力内容
ホスト名	smtps.kct.ne.jp
ポート番号	465
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	会員証記載の「メールアドレス」

(2) メールアカウントの設定 (つづき)

- ⑥ : ③④の設定で「接続の保護 : なし」を指定したサーバーについて以下の警告が表示されます。左下の「接続する上での危険性を理解しました」にを入れて、「確認」をクリックします。

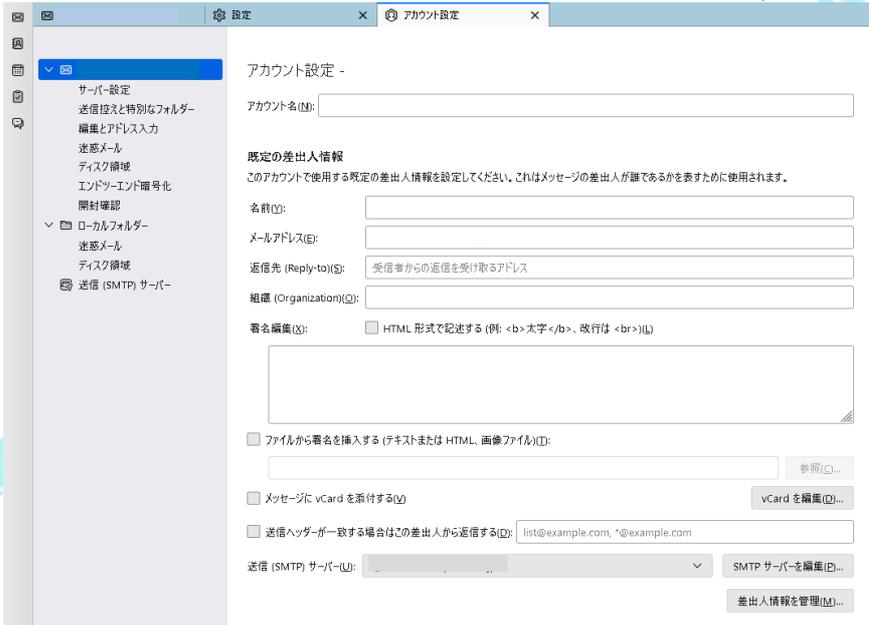
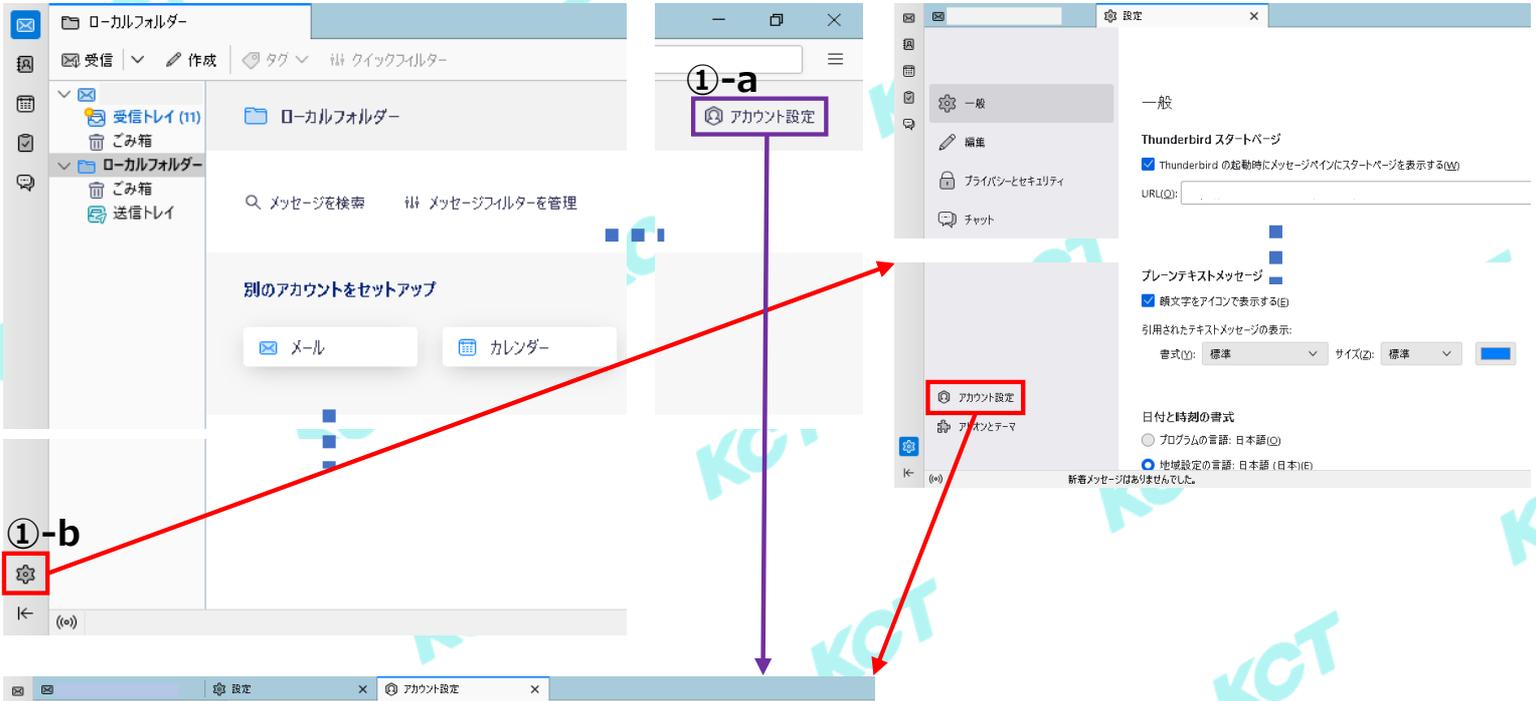


- ⑦ : アカウント作成完了画面が表示されるので、「完了」をクリックして終了です。



(その他) メールアカウントの設定確認 Thunderbirdのメールソフトを起動します。

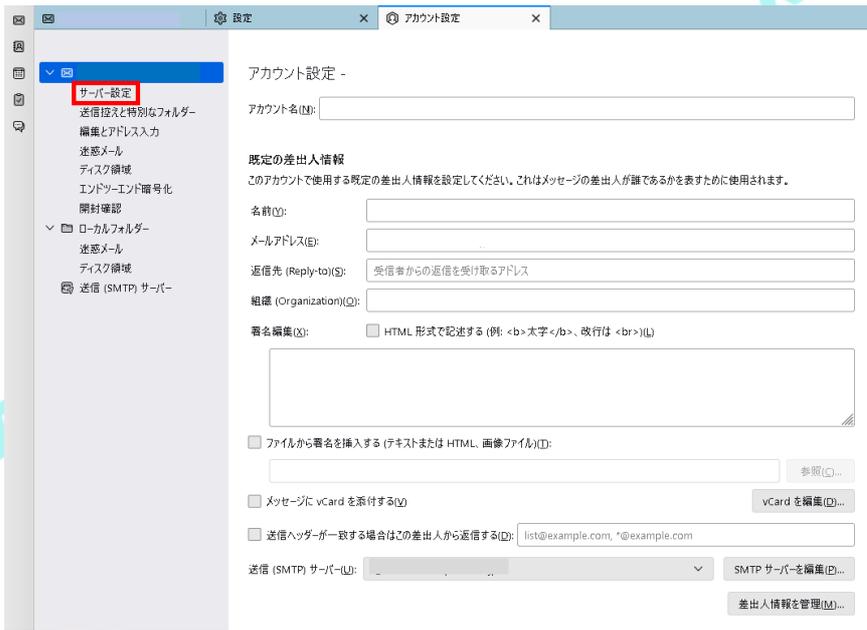
- ①-a : ローカルフォルダの画面から「アカウント設定」をクリックします。
- ①-b : ローカルフォルダの画面が表示されない場合は「歯車」をクリックします。
設定画面で「アカウント設定」をクリックします。
「アカウント設定」設定画面に遷移します。



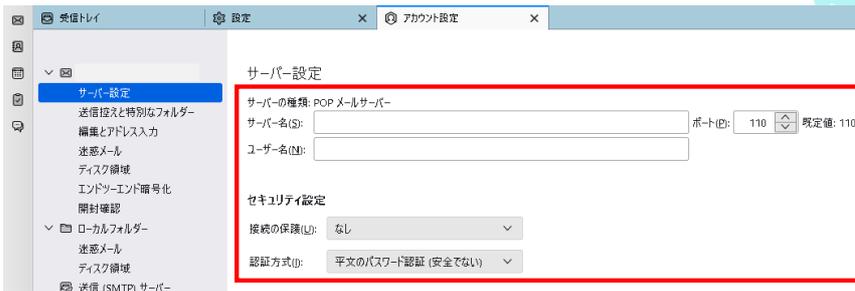
(その他) メールアカウントの設定確認 (つづき 1)

【受信サーバーの設定確認】

②-1 : アカウント設定画面で「サーバー設定」をクリックします。

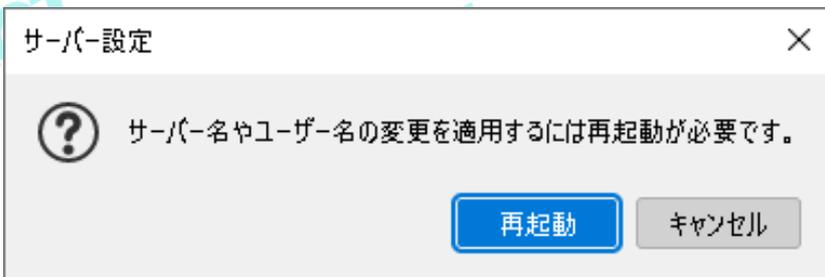


②-2 : 「サーバー設定」の設定項目を表を参照して確認・修正します。



表示名	入力内容
サーバー名	会員証記載の「受信サーバ(POP)」
ポート	110
ユーザー名	会員証記載の「メールアドレス」
接続の保護	なし
認証方式	平文のパスワード認証(安全でない)

②-3 : 設定値を変更した場合、以下のとおりメールソフトの再起動を促されますので「再起動」をクリックします。



②-4 : メールソフト再起動後、②-3 の画面に戻ったら完了です。

(その他) メールアカウントの設定確認 (つづき2)

【送信サーバーの設定確認】

③-0 : メールアドレスが記載されている項目 (以下赤枠) をクリックしてアカウント設定画面を開きます。

アカウント設定

サーバー設定

サーバーの種類: POPメールサーバー

サーバー名(S): ポート(P): 110 既定値: 110

ユーザー名(U):

セキュリティ設定

接続の保護(L): なし

認証方式(M): 平文のパスワード認証 (安全でない)

③-1 : アカウント設定画面で「SMTPサーバーを編集」をクリックします。

アカウント設定 -

アカウント名(N):

既定の差出人情報

このアカウントで使用する既定の差出人情報を設定してください。これはメッセージの差出人が誰であるかを表すために使用されます。

名前(N):

メールアドレス(E):

返信先 (Reply-to)(S): 受信者からの返信を受け取るアドレス

組織 (Organization)(O):

署名編集(X): HTML形式で記述する (例: 大字、改行は
)

ファイルから署名を挿入する (テキストまたは HTML、画像ファイル)(I): 参照(O)...

メッセージに vCard を添付する(O) vCardを編集(O)...

送信ヘッダーが一致する場合はこの差出人から返信する(O) list@example.com, *@example.com

送信 (SMTP) サーバ(L): SMTPサーバーを編集(M)...

差出人情報を管理(M)...

③-2 : 「送信 (SMTP) サーバー」の設定項目を表を参照して確認・修正して「OK」をクリックします。

送信 (SMTP) サーバ

設定

説明(D):

サーバー名(S):

ポート番号(P): 既定値:

セキュリティと認証

接続の保護(M):

認証方式(I):

ユーザー名(U):

OK キャンセル

※KCT-Net回線内でのみ使用する場合

表示名	入力内容
説明	サーバーの設定名。任意項目。
サーバー名	会員証記載の「送信サーバ(SMTP)」
ポート番号	25
接続の保護	なし
認証方式	認証なし
ユーザー名	-

※ KCT-Net回線外でも使用する場合

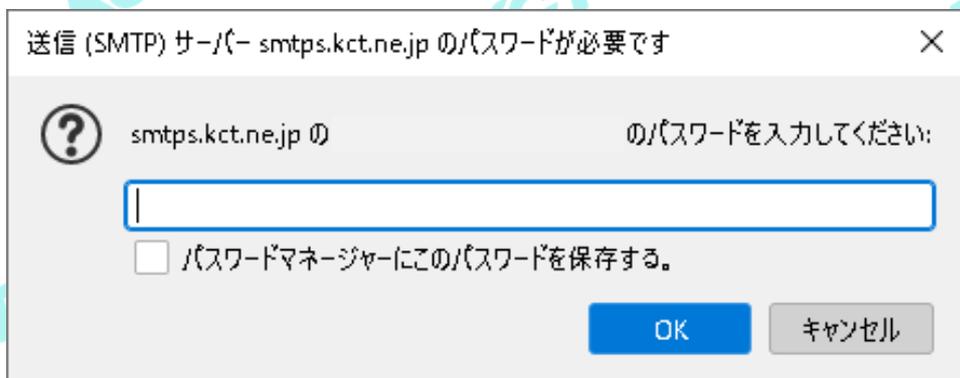
表示名	入力内容
説明	サーバーの設定名。任意項目。
サーバー名	smtps.kct.ne.jp
ポート番号	465
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	会員証記載の「メールアドレス」

(その他) メールアカウントの設定確認 (つづき3)

【送信サーバーの設定確認】

③-3 : ③-2で「※KCT-Net回線外でも使用する場合」を指定した際、設定変更時もしくはメール送信時にパスワード入力を要求される場合がございます。会員証記載の「メールパスワード」を入力して「OK」をクリックします。これで完了です。

※「パスワードを保存する。」に☑を入れない場合、メール送信の度にパスワードを要求されます。



The image shows a Windows-style dialog box titled "送信 (SMTP) サーバー smtps.kct.ne.jp のパスワードが必要です" (SMTP server smtps.kct.ne.jp password required). The dialog contains a question mark icon, the text "smtps.kct.ne.jp のパスワードを入力してください:" (Please enter the password for smtps.kct.ne.jp:), a text input field, a checkbox labeled "パスワードマネージャーにこのパスワードを保存する。" (Save this password in the password manager.), and two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

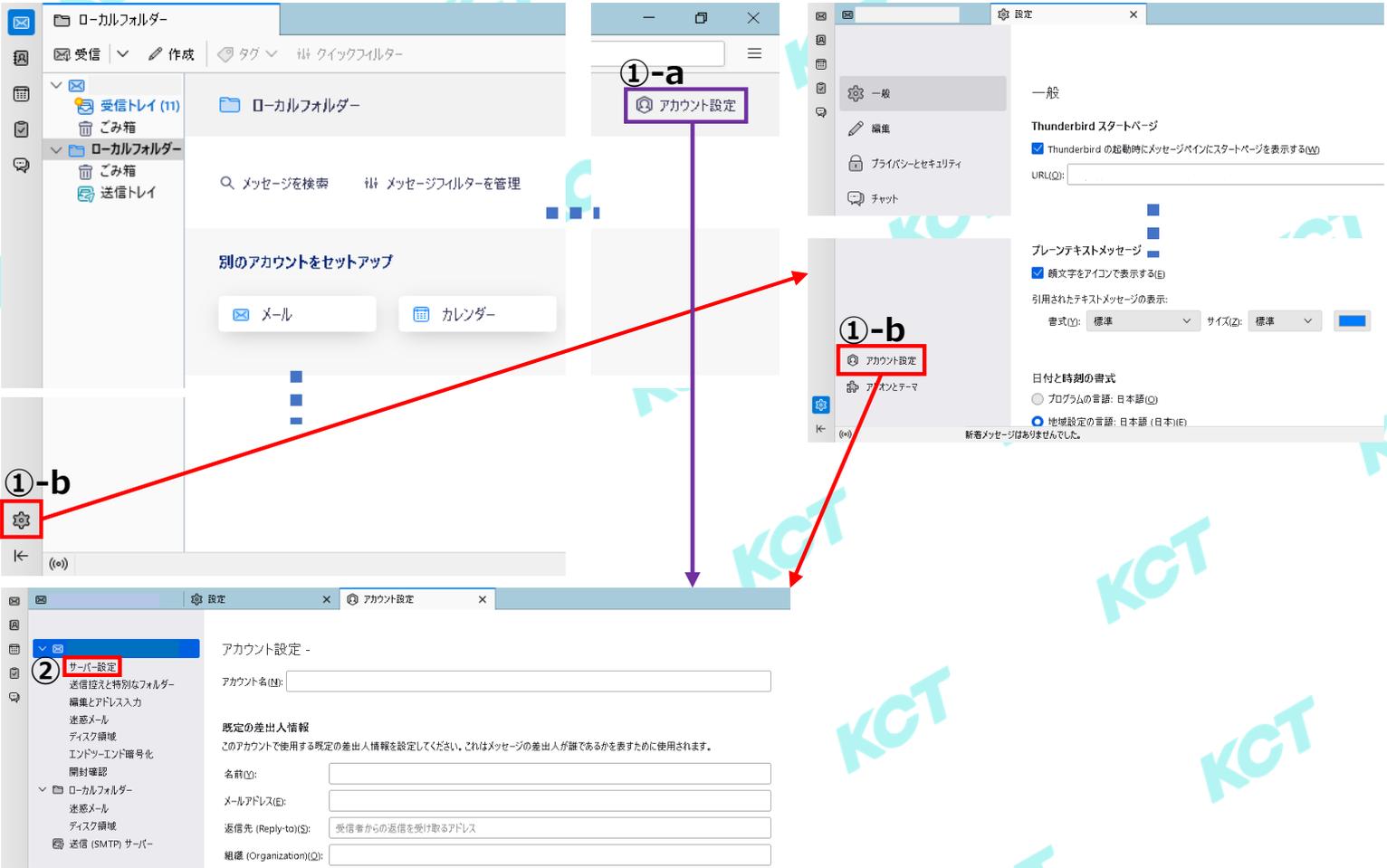
(その他) 受信メールをサーバーに残さない設定

① : Thunderbirdのメールソフトを起動します。

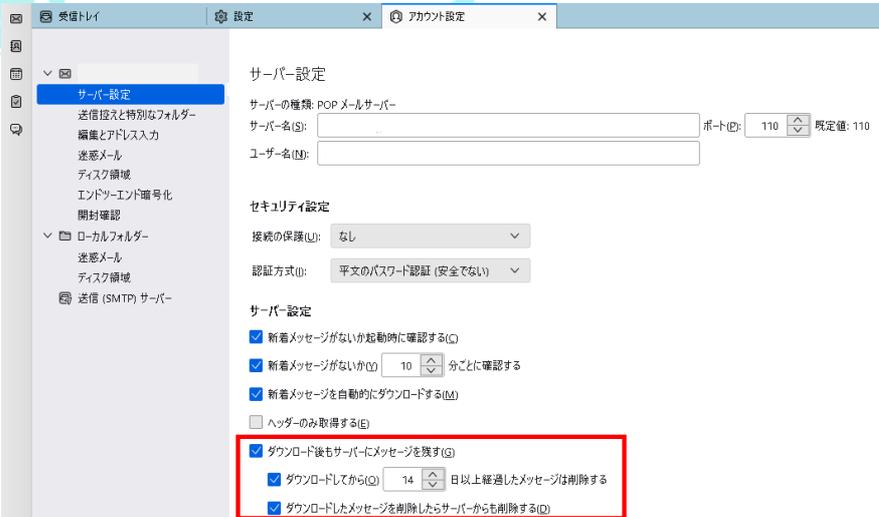
①-a : ローカルフォルダの画面から「アカウント設定」をクリックします。

①-b : ローカルフォルダの画面が表示されない場合は「歯車」をクリックします。
設定画面で「アカウント設定」をクリックします。

② : 「アカウント設定」設定画面に遷移後、「サーバー設定」をクリックします。



③ : 「ダウンロード後もサーバーにメッセージを残す」のチェックを外します。その後、メールの送受信を行うか、メールソフトの再起動を行ってください。



【！】複数台(PC・スマホ)で同じメールアドレスご利用されている場合は、設定を元に戻す必要がございます。その場合、先ほど外した【ダウンロード後もサーバーにメッセージを残す】のチェックを元に戻す必要がございます。設定を戻される場合は、以下の設定もご確認ください。

■ [ダウンロードしてから○日以上経過したメッセージは削除する]

受信したメールが設定した○日を経過すると、自動的にサーバーから削除されます。削除日数については、メールの量に応じて変更ください。

■ [ダウンロードしたメッセージを削除したらサーバーからも削除する]

受信した不要なメールを削除し、ごみ箱を空にすることで対象のメールがサーバーから削除されます。